

であった。

BDI-2 との相関係数の検討（収束的妥当性の検討）においては、自己報告式においては全般的に有意な正の相関が得られ収束的妥当性を備えることが示唆された。

以上の結果から、CAARS 自己報告式および観察者評価式は使用に耐えるだけの妥当性を備えていることが確認できた。

#### 4. BDI の重症度カテゴリと CAARS 下位尺度得点の関連性について

BDI-2 の重症度カテゴリと CAARS 下位尺度得点の関連性について検討するために、BDI-2 を重症度別に 2 カテゴリーに分け、それを従属変数、性別、年齢、標準化された CAARS 自己報告式および観察者評価式の不注意／記憶障害、多動性／落ち着きのなさ、衝動性／情緒不安定、自己概念問題、ADHD 指標をそれぞれ独立変数とするロジスティック回帰分析を行った。その結果、年齢が 1 歳上昇すると、BDI-2 の重症度カテゴリが上がるリスクが 1.03 倍あるということが示唆された。CAARS の下位尺度では、自己報告式の自己概念問題のオッズ比が大きく、値が 1 標準偏差上がると BDI-2 の重症度カテゴリが上がるリスクが 2.81 倍になることが示唆された。同様に、自己報告式が多動性／落ち着きのなさではオッズ比は 1.73、観察者評価式の自己概念問題においてはオッズ比は 1.42 であった。

この結果は、成人期 ADHD の問題として、自己概念が悪くなること、即ち自己評価が悪くなることが抑うつ傾向と相対的に強い結びつきがあることを示唆している。また、成人期 ADHD においては不注意症状が目立ち、多動性／衝動性症状は目立ちにくいものの、抑うつへの影響は多動性／衝動性症状

の方が大きいことを示唆している。この結果を、成人期 ADHD 患者では不注意優勢型が多く、や多動性優勢型や混合型が少ないという先行研究（例えば Resnick, 2000）や本研究班での疫学調査の結果と合わせて考えると、多動性／衝動性症状は目立ちにくくなるものの、その影響力は小さくないと考えられる。しかし、この点については、成人期 ADHD 群の BDI-2 の得点や、気分障害の合併状況などの知見と合わせて検討する必要がある。

#### 5. 尺度得点の性差および年齢層差について

定型群のデータについて、性別および年齢層を独立変数、CAARS 自己報告式および観察者評価式の各下位尺度を従属変数とする 2 要因分散分析を行った。自己報告式については、全ての下位尺度において、性別×年齢層の交互作用は有意ではなかった。性別の主効果については、多動性／落ち着きのなさ、自己概念問題、DSM—多動・衝動型症状、DSM—総合 ADHD 症状において有意となり、多動性／落ち着きのなさ、DSM—多動・衝動型症状、DSM—総合 ADHD 症状においては、男性の方が女性よりも有意に得点が高かった。自己概念問題については、女性の方が男性よりも有意に得点がたかった。自己報告式の全般的な傾向として年齢層が高くなるほど、得点が低くなる傾向がみられた。

観察者評価式においては、自己報告式とは異なる特徴として、性別×年齢層の交互作用有意となること、年齢層の主効果が自己報告式とは逆になり、18～29 歳の得点がある他の年齢層よりも低いこと、性別の主効果については自己概念問題を除く衝動性

情緒不安定および DSM-多動・衝動型症状において女性の方が男性よりも高い得点となることを見いだされた。

これらの結果は、自己報告式については Connors et al. (1999)の原版と同様の傾向がみられるものの、観察者評価式については、やや異なる結果といえる。すなわち、観察者評価式では、年齢の上昇とともに得点が高くなる傾向がみられる点でやや異なっている。この点については、今後原版のデータと直接検定をすることによってより詳細に検討する必要がある。

#### 6. 今後の課題

今後の検討課題としては、前述したように、成人期 ADHD 患者のサンプル数を増やして再検査信頼性や尺度間相関、定型群との比較などを再検討すること、定型群の標準得点を原版と比較することが挙げられる。

#### E. 結論

CAARS 日本語版を作成して信頼性および妥当性の検討を行ったところ、使用に耐えるだけの信頼性と妥当性を備えていることが確認できた。

#### 引用文献

- Beck, A. T., Brown, G. K., & Steer. R. A. (1996). Manual for the Beck Depression Inventory second edition. San Antonio, TX: The Psychological Corporation.
- Connors, C. K., Erhardt, D., & Sparrow, D., (1999). CAARS Adult ADHD Rating Scales. New York: Multi-Health Systems.

小嶋雅代・永谷照男・徳留信寛・古川壽亮

(2002). 日本語版 Beck Depression Inventory-II (BDI-II) の開発 Journal of epidemiology, 12, 179.

Resnick, R. J. (2000). The hidden disorder : a clinician's guide to attention deficit hyperactivity disorder in adults. Washington, DC: American Psychological Association. (レズニック, R. J. 紅葉誠一 (訳) 成人の ADHD : 臨床ガイドブック 東京書籍.

#### F. 健康危険情報

該当なし

#### G. 研究発表

特になし

#### H. 知的財産権の出願・登録状況

##### 1. 特許取得

特になし

##### 2. 実用新案登録

特になし

##### 3. その他

特になし

Table 1 定型群の CAARS 自己報告式および観察者評価式のサンプルの内訳

年齢層	男性	女性	全体
18～29歳	96	152	248
30～39歳	100	92	192
40～49歳	71	92	163
50歳以上	87	96	183
全体	354	432	786

Table 2 定型群の CAARS 自己報告式および観察者評価式のサンプル（再検査）の内訳

年齢層	男性	女性	全体
18～29歳	20	17	37
30～39歳	8	4	12
40～49歳	7	15	22
50歳以上	12	14	26
全体	47	50	97

Table 3 成人期 ADHD 群の CAARS 自己報告式および観察者評価式のサンプルの内訳

	自己報告式	観察者評価式
男性	5	5
女性	8	5
全体	13	10
再検査サンプル		
男性	5	5
女性	6	4
全体	11	9

Table 4 定型群の CAARS 自己報告式と観察者評価式の  
 確認的因子分析の結果

項目番号	因子負荷量	
	自己報告式	観察者評価式
不注意／記憶障害		
3	.49	.60
7	.62	.66
11	.60	.66
16	.61	.58
18	.59	.58
32	.59	.62
36	.61	.58
40	.68	.68
44	.67	.66
49	.56	.49
51	.60	.63
66	.54	.64
多動性／落ち着きのなさ		
1	.15	.21
5	.36	.33
13	.68	.73
17	.67	.59
20	.51	.52
25	.39	.51
27	.67	.64
31	.44	.52
46	.73	.68
54	.59	.55
57	.78	.76
59	.60	.64
衝動性／情緒不安定		
4	.56	.46
8	.54	.70
12	.69	.64
19	.55	.75
23	.40	.70
30	.63	.50
35	.51	.62
39	.72	.66
43	.64	.65
47	.69	.67
52	.65	.68
61	.56	.77
自己概念問題		
6	.73	.65
15	.86	.80
26	.64	.66
37	.77	.80
56	.68	.80
63	.74	.73

**Table 5** 定型群の CAARS 自己報告式と観察者評価式の  
因子間相関（右上段が自己報告式，左下段が観察者評価式）

	自己報告式			
	不注意	多動性	衝動性	自己概念
観察者評価式				
不注意／記憶障害	-	.61	.82	.66
多動性／落ち着きのなさ	.61	-	.68	.30
衝動性／情緒不安定	.64	.60	-	.62
自己概念問題	.56	.43	.47	-

全て0.1%水準で有意

Table 6 定型群のCAARS自己報告式の内的信頼性係数 ( $\alpha$ 係数)  
(年齢層別・性別)

	男性	女性
18～29歳		
不注意／記憶障害	.80	.87
多動性／落ち着きのなさ	.86	.79
衝動性／情緒不安定	.84	.88
自己概念問題	.88	.88
ADHD指標	.75	.82
DSM—不注意型症状	.79	.83
DSM—多動・衝動型症状	.79	.72
DSM—総合ADHD症状	.86	.87
30～39歳		
不注意／記憶障害	.85	.87
多動性／落ち着きのなさ	.85	.78
衝動性／情緒不安定	.87	.90
自己概念問題	.82	.85
ADHD指標	.81	.83
DSM—不注意型症状	.85	.84
DSM—多動・衝動型症状	.75	.71
DSM—総合ADHD症状	.88	.86
40～49歳		
不注意／記憶障害	.85	.88
多動性／落ち着きのなさ	.83	.80
衝動性／情緒不安定	.87	.84
自己概念問題	.85	.88
ADHD指標	.86	.83
DSM—不注意型症状	.82	.85
DSM—多動・衝動型症状	.74	.74
DSM—総合ADHD症状	.87	.88
50歳以上		
不注意／記憶障害	.86	.88
多動性／落ち着きのなさ	.81	.77
衝動性／情緒不安定	.86	.91
自己概念問題	.82	.88
ADHD指標	.87	.89
DSM—不注意型症状	.85	.84
DSM—多動・衝動型症状	.79	.75
DSM—総合ADHD症状	.90	.88
全体		
不注意／記憶障害	.85	.88
多動性／落ち着きのなさ	.84	.79
衝動性／情緒不安定	.85	.88
自己概念問題	.86	.88
ADHD指標	.82	.84
DSM—不注意型症状	.83	.84
DSM—多動・衝動型症状	.77	.73
DSM—総合ADHD症状	.88	.87

Table 7 定型群の CAARS 観察者評価式の内的信頼性係数 ( $\alpha$  係数)  
(年齢層別・性別)

	男性	女性
18～29歳		
不注意／記憶障害	.88	.85
多動性／落ち着きのなさ	.84	.75
衝動性／情緒不安定	.85	.89
自己概念問題	.91	.86
ADHD指標	.86	.82
DSM—不注意型症状	.86	.80
DSM—多動・衝動型症状	.71	.73
DSM—総合ADHD症状	.88	.85
30～39歳		
不注意／記憶障害	.88	.89
多動性／落ち着きのなさ	.88	.82
衝動性／情緒不安定	.88	.92
自己概念問題	.89	.87
ADHD指標	.82	.84
DSM—不注意型症状	.84	.86
DSM—多動・衝動型症状	.78	.76
DSM—総合ADHD症状	.88	.89
40～49歳		
不注意／記憶障害	.86	.92
多動性／落ち着きのなさ	.85	.86
衝動性／情緒不安定	.93	.91
自己概念問題	.87	.86
ADHD指標	.84	.87
DSM—不注意型症状	.82	.89
DSM—多動・衝動型症状	.83	.83
DSM—総合ADHD症状	.89	.91
50歳以上		
不注意／記憶障害	.85	.88
多動性／落ち着きのなさ	.78	.81
衝動性／情緒不安定	.89	.88
自己概念問題	.88	.87
ADHD指標	.81	.80
DSM—不注意型症状	.80	.88
DSM—多動・衝動型症状	.64	.76
DSM—総合ADHD症状	.82	.90
全体		
不注意／記憶障害	.87	.89
多動性／落ち着きのなさ	.85	.81
衝動性／情緒不安定	.89	.90
自己概念問題	.89	.87
ADHD指標	.83	.83
DSM—不注意型症状	.83	.86
DSM—多動・衝動型症状	.75	.78
DSM—総合ADHD症状	.87	.89

Table 8 定型群の CAARS 自己報告式および観察者評価式の  
再検査信頼性係数 (約 1 ヶ月間隔)

	自己報告式	観察者評価式
不注意／記憶障害	.88	.80
多動性／落ち着きのなさ	.79	.76
衝動性／情緒不安定	.86	.82
自己概念問題	.84	.75
ADHD指標	.76	.75
DSM—不注意型症状	.80	.73
DSM—多動・衝動型症状	.75	.78
DSM—総合ADHD症状	.81	.78

全て0.1%水準で有意

Table 9 成人期 ADHD 群の CAARS 自己報告式および観察者評価式の  
内的信頼性係数 ( $\alpha$  係数)

	自己報告式	観察者評価式
不注意／記憶障害	.74	.91
多動性／落ち着きのなさ	.84	.91
衝動性／情緒不安定	.84	.96
自己概念問題	.91	.95
ADHD指標	.67	.93
DSM—不注意型症状	.62	.93
DSM—多動・衝動型症状	.86	.94
DSM—総合ADHD症状	.73	.94

Table 10 成人期 ADHD 群の CAARS 自己報告式および観察者評価式の  
再検査信頼性係数 (約 1 ヶ月間隔)

	自己報告式	観察者評価式
不注意／記憶障害	.39	.93 ***
多動性／落ち着きのなさ	.84 **	.76 **
衝動性／情緒不安定	.94 ***	.91 ***
自己概念問題	.83 **	.97 ***
ADHD指標	.94 ***	.94 ***
DSM—不注意型症状	.59	.93 ***
DSM—多動・衝動型症状	.96 ***	.93 ***
DSM—総合ADHD症状	.86 **	.93 ***

\*\*  $p < .01$ , \*\*\*  $p < .001$



Table 11 CAARS 自己報告式の平均値 (M) と標準偏差 (SD) (年齢層別・性別)

	男性		女性	
	M	SD	M	SD
<b>18～29歳</b>				
不注意／記憶障害	11.80	5.84	11.28	6.56
多動性／落ち着きのなさ	9.45	6.35	7.60	4.74
衝動性／情緒不安定	10.33	6.13	9.87	6.33
自己概念問題	8.00	4.83	8.25	4.66
ADHD指標	10.42	5.37	9.57	5.79
DSM—不注意型症状	6.50	4.44	5.60	4.34
DSM—多動・衝動型症状	4.73	4.24	3.70	3.20
DSM—総合ADHD症状	11.19	7.77	9.20	6.89
<b>30～39歳</b>				
不注意／記憶障害	10.76	5.77	9.78	5.71
多動性／落ち着きのなさ	9.35	5.82	6.87	4.36
衝動性／情緒不安定	9.98	5.63	10.00	6.30
自己概念問題	5.93	3.53	6.66	3.98
ADHD指標	9.15	5.21	8.17	5.19
DSM—不注意型症状	6.03	4.37	5.22	4.11
DSM—多動・衝動型症状	5.26	3.72	3.96	3.19
DSM—総合ADHD症状	11.29	7.34	9.21	6.51
<b>40～49歳</b>				
不注意／記憶障害	7.44	4.68	9.13	5.88
多動性／落ち着きのなさ	8.24	5.17	5.51	3.97
衝動性／情緒不安定	8.04	4.61	8.58	4.94
自己概念問題	4.76	3.30	6.13	3.98
ADHD指標	6.93	5.05	7.69	5.18
DSM—不注意型症状	4.21	3.55	4.72	4.19
DSM—多動・衝動型症状	3.69	3.06	3.05	2.91
DSM—総合ADHD症状	7.80	5.98	7.64	6.42
<b>50歳以上</b>				
不注意／記憶障害	8.48	5.30	7.68	5.34
多動性／落ち着きのなさ	8.94	5.23	5.28	4.06
衝動性／情緒不安定	8.96	4.84	8.05	5.63
自己概念問題	5.56	3.38	6.01	4.14
ADHD指標	8.30	5.55	7.20	5.60
DSM—不注意型症状	4.88	3.99	4.06	3.60
DSM—多動・衝動型症状	4.47	3.72	2.69	2.82
DSM—総合ADHD症状	9.39	7.26	6.75	5.98
<b>全体</b>				
不注意／記憶障害	9.82	5.71	9.71	6.12
多動性／落ち着きのなさ	9.06	5.71	6.49	4.46
衝動性／情緒不安定	9.44	5.45	9.22	5.93
自己概念問題	6.17	4.02	6.97	4.36
ADHD指標	8.84	5.42	8.35	5.57
DSM—不注意型症状	5.51	4.22	4.99	4.13
DSM—多動・衝動型症状	4.61	3.78	3.39	3.08
DSM—総合ADHD症状	10.11	7.29	8.32	6.57

Table 12 CAARS 観察者評価式の平均値 (M) と標準偏差 (SD) (年齢層別・性別)

	男性		女性	
	M	SD	M	SD
<b>18～29歳</b>				
不注意／記憶障害	7.90	6.02	7.72	5.35
多動性／落ち着きのなさ	5.51	4.87	4.97	3.56
衝動性／情緒不安定	5.54	5.04	6.06	5.61
自己概念問題	3.94	3.82	3.88	3.16
ADHD指標	6.32	5.59	6.00	4.71
DSM—不注意型症状	3.59	3.94	3.09	3.17
DSM—多動・衝動型症状	2.39	2.88	2.24	2.59
DSM—総合ADHD症状	5.98	6.30	5.30	5.21
<b>30～39歳</b>				
不注意／記憶障害	8.27	6.35	8.18	6.28
多動性／落ち着きのなさ	6.77	6.00	6.14	4.58
衝動性／情緒不安定	6.46	6.08	8.14	6.58
自己概念問題	2.67	3.39	3.99	3.47
ADHD指標	6.16	5.28	6.72	5.09
DSM—不注意型症状	3.48	3.81	4.28	4.11
DSM—多動・衝動型症状	3.10	3.60	3.34	3.23
DSM—総合ADHD症状	6.64	6.72	7.62	6.73
<b>40～49歳</b>				
不注意／記憶障害	5.89	5.27	9.72	7.45
多動性／落ち着きのなさ	5.99	4.88	5.45	4.67
衝動性／情緒不安定	6.64	6.67	8.87	6.75
自己概念問題	2.72	2.96	3.91	3.39
ADHD指標	5.36	4.93	7.18	5.64
DSM—不注意型症状	2.72	3.04	4.80	4.81
DSM—多動・衝動型症状	2.83	3.64	3.60	3.92
DSM—総合ADHD症状	5.59	6.23	8.51	8.09
<b>50歳以上</b>				
不注意／記憶障害	7.78	5.67	6.80	5.88
多動性／落ち着きのなさ	6.25	4.58	5.64	4.45
衝動性／情緒不安定	8.57	6.22	8.05	5.94
自己概念問題	2.71	3.22	3.10	3.23
ADHD指標	6.47	5.00	6.05	4.66
DSM—不注意型症状	3.44	3.42	3.49	3.85
DSM—多動・衝動型症状	3.71	3.00	3.80	3.34
DSM—総合ADHD症状	6.93	5.52	7.34	6.69
<b>全体</b>				
不注意／記憶障害	7.56	5.93	8.03	6.21
多動性／落ち着きのなさ	6.14	5.15	5.47	4.24
衝動性／情緒不安定	6.78	6.07	7.52	6.22
自己概念問題	3.03	3.42	3.74	3.30
ADHD指標	6.12	5.22	6.42	5.00
DSM—不注意型症状	3.34	3.61	3.80	3.96
DSM—多動・衝動型症状	3.00	3.31	3.10	3.27
DSM—総合ADHD症状	6.32	6.22	6.92	6.64

Table 13 成人期 ADHD 群の CAARS 自己報告式および観察者評価式の  
 平均値 (SD) および男女比較

	男性			女性			比較	
	N	M	SD	N	M	SD	t	d
自己報告式								
不注意／記憶障害	5	31.00	3.32	8	28.25	5.39	1.02	0.58
多動性／落ち着きのなさ	5	19.83	5.60	8	20.25	7.36	0.11	0.06
衝動性／情緒不安定	5	22.80	7.85	8	26.13	6.36	0.84	0.48
自己概念問題	5	13.40	7.23	8	12.63	4.44	0.24	0.14
ADHD指標	5	24.40	7.16	8	27.38	3.11	1.05	0.60
DSM—不注意型症状	5	19.80	4.66	8	20.63	3.54	0.36	0.21
DSM—多動・衝動型症状	5	13.40	7.57	8	14.13	6.33	0.19	0.11
DSM—総合ADHD症状	5	33.20	10.43	8	34.75	5.50	0.31	0.20
観察者評価式								
不注意／記憶障害	5	18.44	10.89	5	19.60	9.84	2.22	0.11
多動性／落ち着きのなさ	5	11.73	9.88	5	14.40	7.89	0.47	0.30
衝動性／情緒不安定	5	15.00	13.25	5	18.20	10.59	1.39	0.27
自己概念問題	5	8.60	5.90	5	9.00	6.52	0.10	0.06
ADHD指標	5	15.73	11.62	5	21.20	8.76	1.86	0.53
DSM—不注意型症状	5	12.20	9.73	5	14.40	6.66	2.03	0.26
DSM—多動・衝動型症状	5	8.40	8.44	5	9.60	8.96	1.43	0.14
DSM—総合ADHD症状	5	20.60	17.23	5	24.00	12.39	1.85	0.23

Table 14 定型群の CAARS 自己報告式の下位尺度間相関

	自己報告式							
	不注意／ 記憶障害	多動性／ 落ち着きの なさ	衝動性／ 情緒不安 定	自己概念 問題	ADHD指 標	DSM—不 注意	DSM—多 動・衝動	DSM—総 合ADHD
自己報告式								
不注意／記憶障害	—							
多動性／落ち着きのなさ	.50	—						
衝動性／情緒不安定	.68	.57	—					
自己概念問題	.57	.24	.54	—				
ADHD指標	.77	.60	.80	.72	—			
DSM—不注意型症状	.85	.60	.69	.54	.80	—		
DSM—多動・衝動型症状	.57	.79	.67	.31	.67	.66	—	
DSM—総合ADHD症状	.80	.75	.75	.47	.81	.93	.89	—

全て0.1%水準で有意

Table 15 定型群の CAARS 観察者評価式の下位尺度間相関

	観察者評価式							
	不注意／ 記憶障害	多動性／ 落ち着きの なさ	衝動性／ 情緒不安 定	自己概念 問題	ADHD指 標	DSM—不 注意	DSM—多 動・衝動	DSM—総 合ADHD
観察者評価式								
不注意／記憶障害	—							
多動性／落ち着きのなさ	.50	—						
衝動性／情緒不安定	.60	.55	—					
自己概念問題	.50	.31	.44	—				
ADHD指標	.75	.63	.79	.67	—			
DSM—不注意型症状	.85	.59	.64	.52	.78	—		
DSM—多動・衝動型症状	.57	.77	.73	.34	.69	.66	—	
DSM—総合ADHD症状	.79	.74	.75	.48	.81	.92	.90	—

全て0.1%水準で有意

Table 16 成人期 ADHD 群の CAARS 自己報告式の下位尺度間相関

	自己報告式							
	不注意／記憶障害	多動性／落ち着きのなさ	衝動性／情緒不安定	自己概念問題	ADHD指標	DSM—不注意	DSM—多動・衝動	DSM—総合ADHD
自己報告式								
不注意／記憶障害	—							
多動性／落ち着きのなさ	-.04	—						
衝動性／情緒不安定	.10	.64 *	—					
自己概念問題	.38	-.37	.17	—				
ADHD指標	.43	.52	.76	.41	—			
DSM—不注意型症状	.68 **	-.13	.22	.57 *	.43	—		
DSM—多動・衝動型症状	-.08	.93 ***	.67 *	-.21	.59 *	-.06	—	
DSM—総合ADHD症状	.29	.76 **	.71 **	.11	.74 **	.47	.85 ***	—

\* $p < .05$ , \*\* $p < .01$ , \*\*\* $p < .001$

Table 17 成人期 ADHD 群の CAARS 観察者評価式の下位尺度間相関

	観察者評価式							
	不注意／記憶障害	多動性／落ち着きのなさ	衝動性／情緒不安定	自己概念問題	ADHD指標	DSM—不注意	DSM—多動・衝動	DSM—総合ADHD
観察者評価式								
不注意／記憶障害	—							
多動性／落ち着きのなさ	.44	—						
衝動性／情緒不安定	.71 *	.70 *	—					
自己概念問題	.92 ***	.24	.64 *	—				
ADHD指標	.87 **	.71 *	.92 ***	.78 **	—			
DSM—不注意型症状	.98 ***	.56	.79 ***	.89 **	.93 ***	—		
DSM—多動・衝動型症状	.45	.95 ***	.77 ***	.31	.73 *	.55	—	
DSM—総合ADHD症状	.81 **	.86 **	.88 **	.67 *	.94 ***	.88 **	.89 **	—

\* $p < .05$ , \*\* $p < .01$ , \*\*\* $p < .001$

Table 18 CAARS 自己報告式および観察者評価式のグループ間比較

	定型群						成人期ADHD群						群比較					
	男性			女性			男性			女性			男性		女性			
	N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD	t	d	t	d		
自己報告式																		
不注意／記憶障害	350	9.82	5.71	429	9.71	6.12	5	31.00	3.32	8	28.25	5.39	8.26	***	3.72	8.51	***	3.04
多動性／落ち着きのなさ	349	9.06	5.71	428	6.49	4.46	5	19.80	5.54	8	20.25	7.36	4.18	***	1.88	5.27	**	3.04
衝動性／情緒不安定	348	9.44	5.45	425	9.22	5.93	5	22.80	7.85	8	26.13	6.36	5.41	***	2.44	7.97	***	2.85
自己概念問題	353	6.17	4.02	429	6.97	4.36	5	13.40	7.23	8	12.63	4.44	3.95	***	1.78	3.63	**	1.30
ADHD指標	353	8.84	5.42	425	8.35	5.57	5	24.40	7.16	8	27.38	3.11	6.34	***	2.86	9.63	***	3.44
DSM—不注意型症状	352	5.51	4.22	428	4.99	4.13	5	19.80	4.66	8	20.63	3.54	7.50	***	3.38	4.78	**	3.79
DSM—多動・衝動型症状	351	4.61	3.78	428	3.39	3.08	5	13.40	7.57	8	14.13	6.33	5.08	***	2.29	9.52	***	3.40
DSM—総合ADHD症状	349	10.11	7.29	424	8.32	6.57	5	33.20	10.43	8	34.75	5.50	6.99	***	3.15	11.30	***	4.03
観察者評価式																		
不注意／記憶障害	348	7.56	5.93	428	8.03	6.21	5	18.40	10.88	5	19.60	9.84	2.22		1.80	4.11	***	1.85
多動性／落ち着きのなさ	347	6.14	5.15	424	5.47	4.24	5	11.80	9.86	5	14.40	7.89	2.40	*	1.08	2.53		2.08
衝動性／情緒不安定	345	6.78	6.07	421	7.52	6.22	5	15.00	13.25	5	18.20	10.59	1.39		1.33	3.78	***	1.70
自己概念問題	350	3.03	3.42	427	3.74	3.30	5	8.60	5.90	5	9.00	6.52	3.57	**	1.61	1.80		1.58
ADHD指標	348	6.12	5.22	426	6.42	5.00	5	15.80	11.63	5	21.20	8.76	1.86		1.81	6.51	***	2.93
DSM—不注意型症状	351	3.34	3.61	425	3.80	3.96	5	12.20	9.73	5	14.40	6.66	2.03		2.37	3.56	*	2.66
DSM—多動・衝動型症状	349	3.00	3.31	424	3.10	3.27	5	8.40	8.44	5	9.60	8.96	1.43		1.58	1.62		1.93
DSM—総合ADHD症状	347	6.32	6.22	417	6.92	6.64	5	20.60	17.23	5	24.00	12.39	1.85		2.21	3.08	*	2.54

\* $p < .05$ , \*\* $p < .01$ , \*\*\* $p < .001$

Table 19 定型群の CAARS 自己報告式と観察者評価式の相関

観察者評価式	自己報告式							
	不注意／記憶障害	多動性／落ち着きのなさ	衝動性／情緒不安定	自己概念問題	ADHD指標	DSM—不注意	DSM—多動・衝動	DSM—総合ADHD
不注意／記憶障害	<b>.37</b> ***	.20 ***	.26 ***	.12 **	.27 ***	.35 ***	.19 ***	.30 ***
多動性／落ち着きのなさ	.12 **	<b>.38</b> ***	.18 ***	-.04	.17 ***	.18 ***	.31 ***	.26 ***
衝動性／情緒不安定	.09 *	.16 ***	<b>.28</b> ***	.05	.18 ***	.14 ***	.15 ***	.16 ***
自己概念問題	.23 ***	.10 ***	.21 ***	<b>.34</b> ***	.29 ***	.25 ***	.09 *	.19 ***
ADHD指標	.25 ***	.24 ***	.29 ***	.17 ***	<b>.31</b> ***	.28 ***	.21 ***	.27 ***
DSM—不注意型症状	.30 ***	.20 ***	.25 ***	.11 **	.26 ***	<b>.32</b> ***	.22 ***	.29 ***
DSM—多動・衝動型症状	.11 *	.26 ***	.21 ***	-.01	.18 ***	.17 ***	<b>.27</b> ***	.23 ***
DSM—総合ADHD症状	.23 ***	.25 ***	.25 ***	.06	.24 ***	.27 ***	.26 ***	<b>.29</b> ***

\*  $p < .05$ , \*\*  $p < .01$ , \*\*\*  $p < .001$ 

Table 20 成人期 ADHD 群の CAARS 自己報告式と観察者評価式の相関

観察者評価式	自己報告式							
	不注意／記憶障害	多動性／落ち着きのなさ	衝動性／情緒不安定	自己概念問題	ADHD指標	DSM—不注意	DSM—多動・衝動	DSM—総合ADHD
不注意／記憶障害	<b>.17</b>	.23	.31	.13	.53	-.14	.28	.19
多動性／落ち着きのなさ	-.23	<b>.56</b>	.78 **	-.05	.59	-.15	.76 *	.63
衝動性／情緒不安定	-.22	.62	<b>.63</b> *	.01	.65 *	-.41	.67 *	.41
自己概念問題	.21	.21	.27	<b>.25</b>	.50	.03	.21	.21
ADHD指標	-.11	.52	.61	.05	<b>.70</b> *	-.26	.60	.42
DSM—不注意型症状	.07	.27	.41	.18	.61	<b>-.13</b>	.36	.26
DSM—多動・衝動型症状	-.25	.75 *	.87 **	-.16	.61	-.24	<b>.86</b> **	.68 *
DSM—総合ADHD症状	-.10	.58	.73 *	.01	.69 *	-.22	.70 *	<b>.53</b>

\*  $p < .05$ , \*\*  $p < .01$ , \*\*\*  $p < .001$

Table 21 CAARS 自己報告式と BDI-2 の相関 (年齢層別・性別)

	男性	女性
18～29歳		
不注意／記憶障害	.35 **	.37 ***
多動性／落ち着きのなさ	.31 **	.33 ***
衝動性／情緒不安定	.39 **	.43 ***
自己概念問題	.50 ***	.53 ***
ADHD指標	.44 ***	.50 ***
DSM—不注意型症状	.35 ***	.40 ***
DSM—多動・衝動型症状	.41 ***	.36 ***
DSM—総合ADHD症状	.42 ***	.42 ***
30～39歳		
不注意／記憶障害	.31 **	.31 **
多動性／落ち着きのなさ	.27 **	.05
衝動性／情緒不安定	.31 **	.54 ***
自己概念問題	.50 ***	.61 ***
ADHD指標	.46 ***	.52 ***
DSM—不注意型症状	.23 *	.34 ***
DSM—多動・衝動型症状	.24 *	.24 *
DSM—総合ADHD症状	.26 *	.32 **
40～49歳		
不注意／記憶障害	.43 ***	.34 **
多動性／落ち着きのなさ	.20	.06
衝動性／情緒不安定	.53 ***	.38 ***
自己概念問題	.66 ***	.61 ***
ADHD指標	.62 ***	.46 ***
DSM—不注意型症状	.54 ***	.42 ***
DSM—多動・衝動型症状	.27 *	.16
DSM—総合ADHD症状	.44 ***	.35 **
50歳以上		
不注意／記憶障害	.49 ***	.53 ***
多動性／落ち着きのなさ	.45 ***	.31 **
衝動性／情緒不安定	.56 ***	.63 ***
自己概念問題	.63 ***	.62 ***
ADHD指標	.62 ***	.62 ***
DSM—不注意型症状	.60 ***	.45 ***
DSM—多動・衝動型症状	.51 ***	.51 ***
DSM—総合ADHD症状	.60 ***	.51 ***
全体		
不注意／記憶障害	.39 ***	.36 ***
多動性／落ち着きのなさ	.31 ***	.20 ***
衝動性／情緒不安定	.43 ***	.47 ***
自己概念問題	.56 ***	.56 ***
ADHD指標	.53 ***	.51 ***
DSM—不注意型症状	.41 ***	.39 ***
DSM—多動・衝動型症状	.36 ***	.31 ***
DSM—総合ADHD症状	.42 ***	.39 ***

\*  $p < .05$ , \*\*  $p < .01$ , \*\*\*  $p < .001$

Table 22 CAARS 観察者評価式と BDI-2 の相関 (年齢層別・性別)

	男性	女性
18～29歳		
不注意／記憶障害	.05	.12
多動性／落ち着きのなさ	.15	-.10
衝動性／情緒不安定	.13	.08
自己概念問題	.10	.11
ADHD指標	.14	.13
DSM—不注意型症状	.15	.14
DSM—多動・衝動型症状	.18	-.01
DSM—総合ADHD症状	.18	.07
30～39歳		
不注意／記憶障害	.21 *	.09
多動性／落ち着きのなさ	.10	-.03
衝動性／情緒不安定	.13	.29 **
自己概念問題	.25 *	.35 **
ADHD指標	.20	.28 **
DSM—不注意型症状	.20 *	.06
DSM—多動・衝動型症状	.07	.10
DSM—総合ADHD症状	.16	.09
40～49歳		
不注意／記憶障害	.40 **	.09
多動性／落ち着きのなさ	.18	-.04
衝動性／情緒不安定	.32 **	.11
自己概念問題	.41 **	.23 *
ADHD指標	.34 **	.15
DSM—不注意型症状	.31 *	.07
DSM—多動・衝動型症状	.38 **	-.04
DSM—総合ADHD症状	.37 **	.01
50歳以上		
不注意／記憶障害	.19	.11
多動性／落ち着きのなさ	.14	.09
衝動性／情緒不安定	.09	.16
自己概念問題	.23 *	.23 *
ADHD指標	.23 *	.15
DSM—不注意型症状	.27 *	.12
DSM—多動・衝動型症状	.04	.17
DSM—総合ADHD症状	.11	.18
全体		
不注意／記憶障害	.19 ***	.10 *
多動性／落ち着きのなさ	.13 **	-.03
衝動性／情緒不安定	.14 **	.15 **
自己概念問題	.24 ***	.21 ***
ADHD指標	.21 ***	.17
DSM—不注意型症状	.22 ***	.09
DSM—多動・衝動型症状	.14 **	.05
DSM—総合ADHD症状	.19 **	.08

\*  $p < .05$ , \*\*  $p < .01$ , \*\*\*  $p < .001$

Table 23 性別ごとの BDI-2 の 4 つの重症度カテゴリーの内訳

	男性	女性	合計
minimal	276	307	583
mild	38	63	101
moderate	23	31	54
severe	5	10	15
全体	342	411	753

Table 24 BDI-2 の 2 カテゴリーを従属変数とするロジスティック回帰分析の結果

	B	SE	Wald (df=1)	OR	95% CI
性別	-0.55	0.33	2.76	0.58	(0.30 - 1.10)
年齢	0.03	0.01	4.88 *	1.03 *	(1.00 - 1.05)
多動性／落ち着きのなさ(自己報告式)	0.55	0.14	15.94 ***	1.73 *	(1.32 - 2.26)
自己概念問題(自己報告式)	1.03	0.17	37.29 ***	2.81 *	(2.02 - 3.92)
自己概念問題(観察者評価式)	0.35	0.13	7.02 **	1.42 *	(1.10 - 1.84)
X <sup>2</sup> (5)			96.5 ***		
正分類 (%)			90.7		

\*  $p < .05$ , \*\*  $p < .01$ , \*\*\*  $p < .001$

Table 25 CAARS 自己報告式の性別×年齢層の 2 要因分散分析の結果

	性別 <i>F</i> (df = 1)	年齢層 <i>F</i> (df = 3)	性別×年齢層 <i>F</i> (df = 3)
不注意／記憶障害 (df=771)	0.12	16.49 *** 18～29歳, 30～39歳>40～49歳, 50歳以上	1.95
多動性／落ち着きのなさ (df=769)	53.08 *** 男性>女性	4.75 ** 18～29歳>40～49歳, 50歳以上	1.13
衝動性／情緒不安定 (df=765)	0.24	5.23 ** 18～29歳>40～49歳, 50歳以上 30～39歳>40～49歳	0.52
自己概念問題 (df=774)	5.54 * 女性>男性	17.89 *** 18～29歳>30～39歳, 40～49歳, 50歳以上	0.64
ADHD指標 (df=770)	1.88	9.66 *** 18～29歳>40～49歳, 50歳以上	1.08
DSM—不注意型症状 (df=772)	2.82	7.51 *** 18～29歳>40～49歳, 50歳以上 30～39歳>50歳以上	1.14
DSM—多動・衝動型症状 (df=771)	22.95 *** 男性>女性	5.13 ** 30～39歳>40～49歳	0.88
DSM—総合ADHD症状 (df=765)	11.78 ** 男性>女性	7.22 *** 18～29歳, 30～39歳>40～49歳, 50歳以上	1.03

\*  $p < .05$ , \*\*  $p < .01$ , \*\*\*  $p < .001$



Table 26 CAARS 観察者評価式の性別×年齢層の2要因分散分析の結果

	性別 <i>F</i> ( <i>df</i> = 1)	年齢層 <i>F</i> ( <i>df</i> = 3)	性別×年齢層 <i>F</i> ( <i>df</i> = 3)
不注意／記憶障害 ( <i>df</i> =768)	2.13	0.74	5.34 ** 女性において40～49歳>50歳以上 ( <i>F</i> = 3.83 **)
多動性／落ち着きのなさ ( <i>df</i> =763)	2.80	2.41	0.00
衝動性／情緒不安定 ( <i>df</i> =758)	4.76 * 女性>男性	6.51 *** 18～29歳<40～49歳, 50歳以上	1.76
自己概念問題 ( <i>df</i> =769)	8.56 ** 女性>男性	3.19 * 18～29歳>50歳以上	1.95
ADHD指標 ( <i>df</i> =766)	1.20	0.11	1.79
DSM—不注意型症状 ( <i>df</i> =768)	4.87 * 女性>男性	0.88	3.96 * 女性において, 18～29歳<40～49歳 ( <i>F</i> = 4.53 **)
DSM—多動・衝動型症状 ( <i>df</i> =765)	0.98	7.04 *** 18～29歳<30～39歳, 40～49歳, 50歳以上	0.64
DSM—総合ADHD症状 ( <i>df</i> =756)	3.72	2.81 *	2.51

\*  $p < .05$ , \*\*  $p < .01$ , \*\*\*  $p < .001$

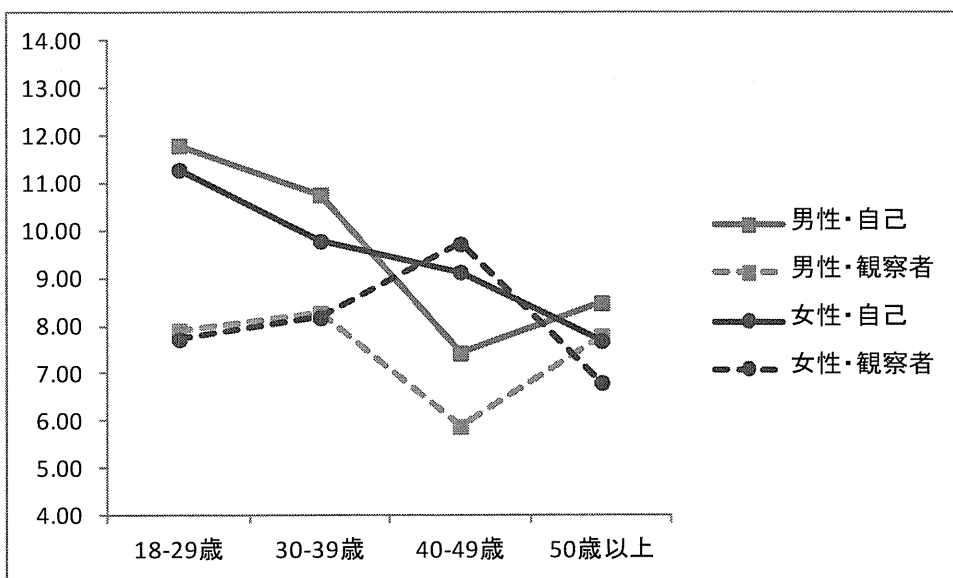


Figure 1 不注意/記憶障害の性別・評定者ごとの平均値

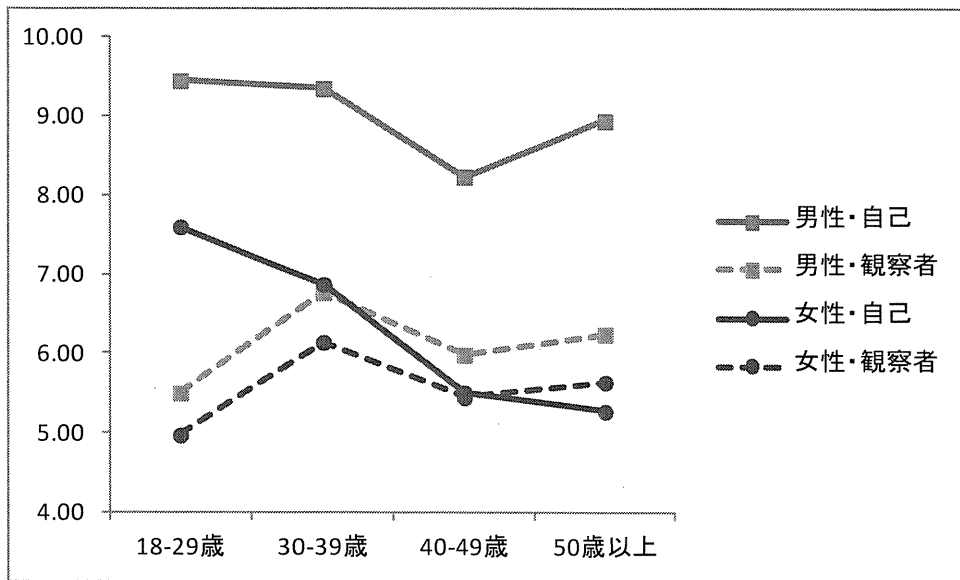


Figure 2 多動性/落ち着きのなさの性別・評定者ごとの平均値

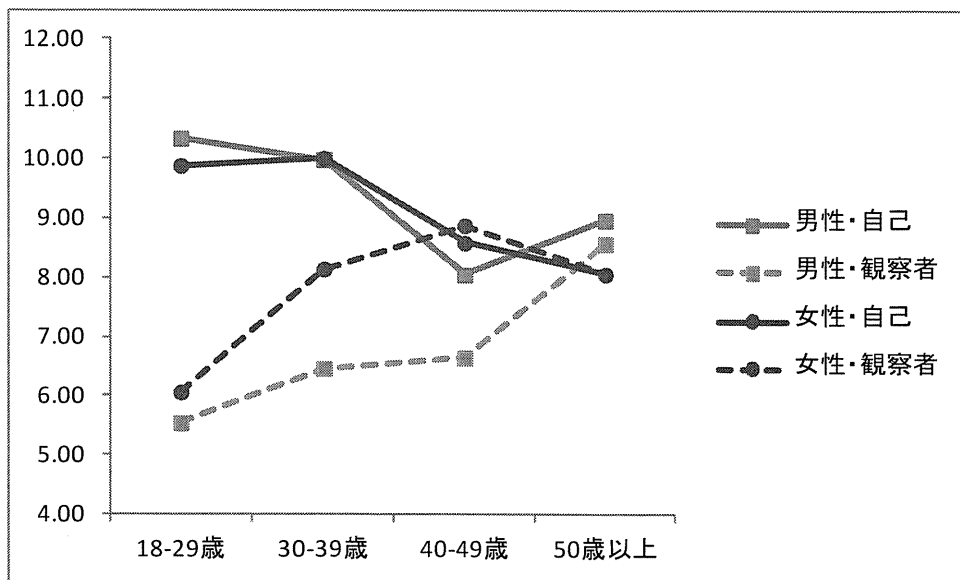


Figure 3 衝動性/情緒不安定の性別・評定者ごとの平均値

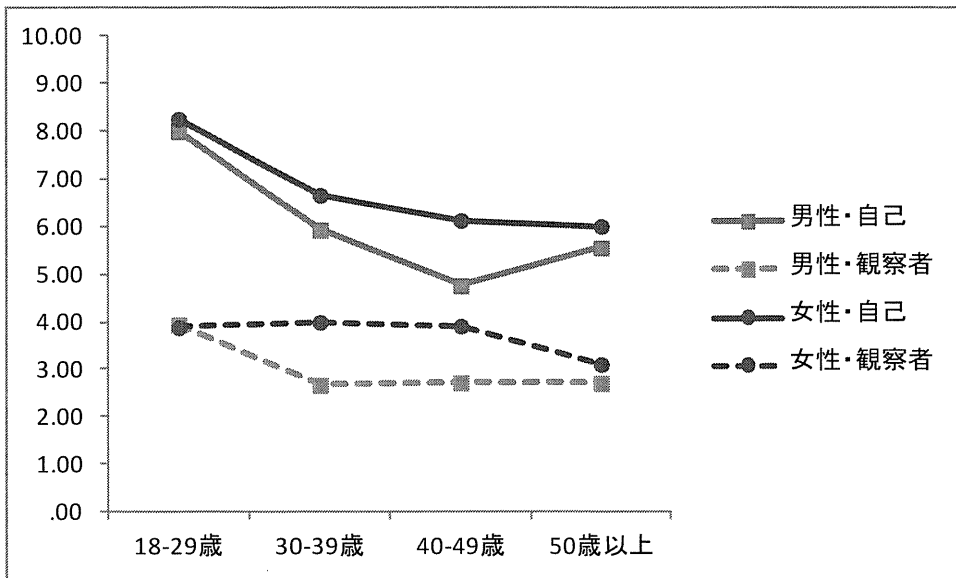


Figure 4 自己概念問題の性別・評定者ごとの平均値

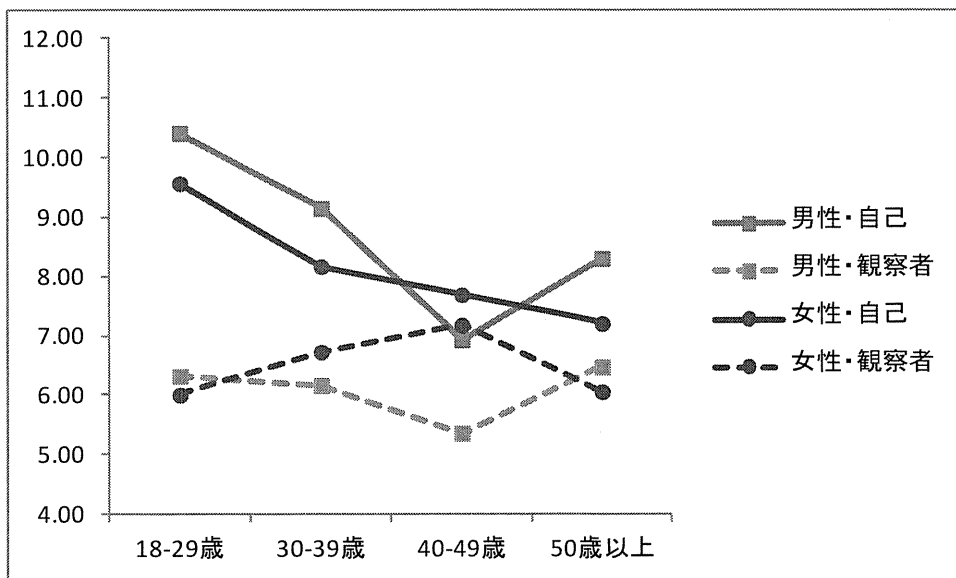


Figure 5 ADHD 指標の性別・評定者ごとの平均値

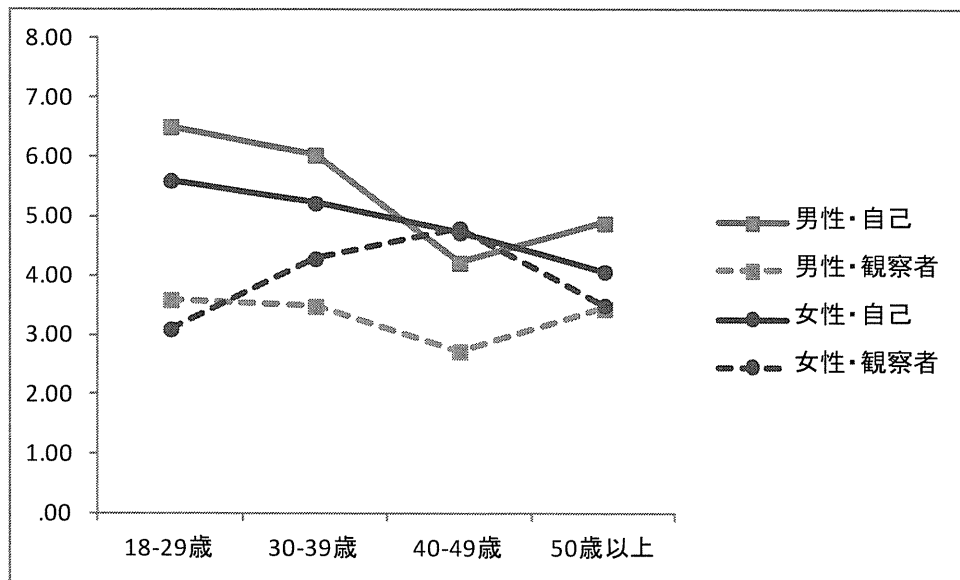


Figure 6 DSM-I不注意型症状の性別・評定者ごとの平均値

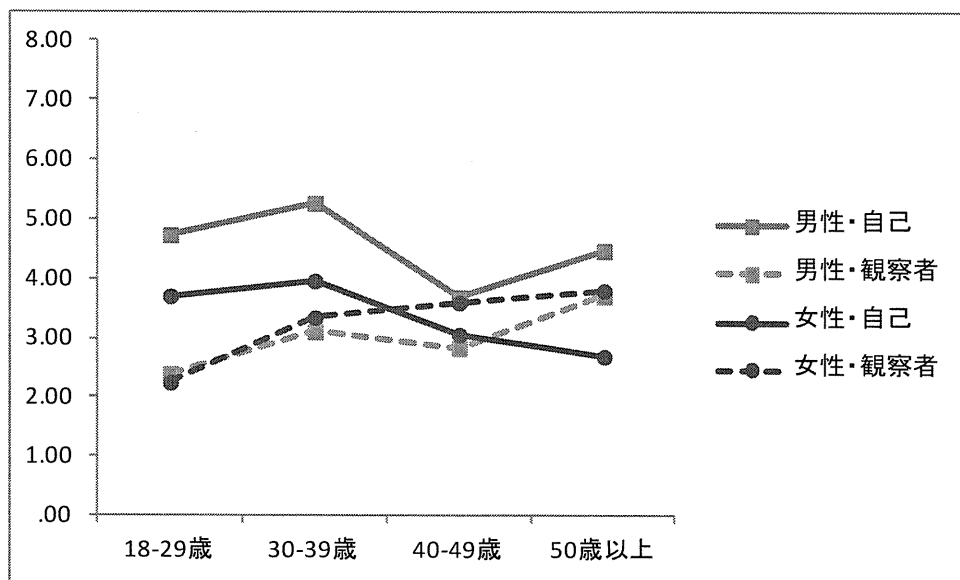


Figure 7 DSM-I多動・衝動型症状の性別・評定者ごとの平均値